

平成 27 年 文教市民委員会（ 3 月 10 日）

No.4 灰垣委員

2 点お伺いします。高槻市文化施設設計者選定委員会、この委員はどのような方を想定されているのかというのが 1 点。2 点目は、この設計に際して、当然、市の思いが必要だと思いますけれども、これを反映するために、市としてはどのような意向をお持ちなのか、お願いします。

No.5 西尾文化スポーツ振興課長

委員お尋ねの 1 点目の設計者選定委員会の委員につきましては、学識経験のある者、その他市長が適当と認める者として、劇場の建築設計の専門家や劇場運営・経営に関して豊富な経験のある方などを想定しており、また、市の職員としては、文化を所管する部長や建築・公園を所管する部長と、2 名程度を想定しております。

もう 1 点の設計に関しての思いについてでございますが、どのように反映するかにつきましては、設計者選定の段階におきましては、設計プロポーザル参加者の提案をもとに建替基本計画で定めた本市の施設整備方針に即した施設の設計者に適した者を選定してまいります。

また、設計者選定後の実際の設計段階におきましても、設計者と綿密に協議し、市の意向を反映できるように進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

No.6 灰垣委員

高槻市にとって非常に重要な市民会館の建てかえの選定委員ということで、この選定する人によって、いいものができるのか、または、というふうなことになるのかという、非常に重要なことだと私は思っています。

文化・芸術、これは政治の世界でもそうだと思うんですけども、行政においても非常に中心に置いて考えていくものだと私は常日ごろから思っています。

一昨年、第 2 回なんですけども、瀬戸内の国際芸術祭に安藤忠雄さんの事務所で働く方のご案内で、島をめぐるさせていただきました。私も文化・芸術、非常に興味を持っておりましたので、行かせていただいたんですけども。安藤忠雄さんをこの委員にしるとまでは言いませんが、そういった方に匹敵するような、そういった方の選定を心がけていただきたいと常に思っております。

市の思いというか、当然、自治体ごとにはいろんな考え方、また、環境の違いもございませうから、市の思いというのもそこに反映していかなくてはいけないというふうに私は思っておりますので、それも踏まえた上での選定委員の選出をお願いしたいということを申し

上げて、私のこの件についての質問は終わらせていただきます。
以上です。